

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3, 4	1	必修
担当教員			
河中 弥生子			
月3、月4			
添付ファイル			

科目の概要	前半は、援助者に求められる他者理解能力と適切な栄養指導能力の向上、栄養指導に必要な自己理解を深める取り組みを進める。個別栄養教育に必要なカウンセリング理論を学習し、ロールプレイを中心とした演習を行う。 後半は集団栄養教育に必要な技術を学習し、集団栄養教育の計画作成、栄養教育に使用する媒体作成、それを使用した模擬指導を行う。
授業の内容	<p>第1回 前半ガイダンス 「栄養教育場面に求められる栄養士の資質と栄養カウンセリング技法について」 レクチャー</p> <p>第2回 「受容、共感、自己一致について」 受容、共感について事例を通して応答を考える</p> <p>第3回 「初回面接のかかわり方について」 初回面接で伝えること、聴いておくべきことをロールプレイを通じて学ぶ</p> <p>第4回 「単純受容、確認」 単純受容、確認の仕方について自分の話を中心にロールプレイを通じて学ぶ</p> <p>第5回 「自分の気持ちを伝える、他者の気持ちを受け止める」 5～6人のグループで自分自身の感情を有する経験伝える。また、他者の話を受け止める訓練</p> <p>第6回 「他者の気落ちを考える」 事例の言葉からその後ろにある感情を捉えそれに応答言葉を考える</p> <p>第7回 「開かれた質問、閉ざされた質問」 開かれた質問、閉ざされた質問を考えその効果をロールプレイを通じて学ぶ</p> <p>第8回 「沈黙の意味と要約」 沈黙の意味を考えることときいた話を要約することをロールプレイを通じて学ぶ</p> <p>第9回 「模擬個別教育」 2人組になり今まで学んだことを使用して模擬個別栄養教育の内容を考える</p> <p>第10回 模擬個別栄養教育の実施① 2人で実際に模擬個別教育を実施する</p> <p>第11回 模擬個別栄養教育の実施② 2人で実際に模擬個別教育を実施する</p> <p>第12回 模擬個別栄養教育の実施③ 2人で実際に模擬個別教育を実施する</p> <p>第13回 「自分の知る」① ゲシュタルト療法のエクササイズを通じて自分に気づく</p> <p>愛14回 「自分の知る」② 性格テスト（エゴグラム）、タイプA行動パターンテスト実施し自分に気づく</p> <p>第15回 「自分の知る」③ コラージュ療法のコラージュを作成し自分に気づく</p> <p>第16回 後半ガイダンス 「集団を対象にした栄養教育、食育について」レクチャー</p> <p>第17回 「栄養教育としてのポスターづくり」① 若者の健康課題を解決するための栄養教育としてのポスター作製①</p> <p>第18回 「栄養教育としてのポスターづくり」② 若者の健康課題を解決するための栄養教育としてのポスター作製②</p> <p>第19回 「作成したポスターを評価する」 ポスターを鑑賞しみんなで評価する</p> <p>第20回 「栄養教育の計画」① ライフスタイル別、生活習慣病予防をテーマにした学習指導案の作成①</p> <p>第21回 「栄養教育の計画」② ライフスタイル別、生活習慣病予防をテーマにした学習指導案の作成②</p> <p>第22回 「栄養教育の計画」③ 3～4人のグループを作り集団栄養教育を考える</p>

	第23回 「媒体づくり」 集団栄養教育に必要な媒体づくり
	第24回 「テキストづくり」 集団栄養教育に必要なテキスト（配布資料）づくり
	第25回 「プレゼンテーションについて」① 集団栄養教育の伝え方（プレゼンテーション）を考える①
	第26回 「プレゼンテーションについて」② 集団栄養教育の伝え方（プレゼンテーション）を考える②
	第27回 模擬集団栄養教育の実施①
	第28回 模擬集団栄養教育の実施②
	第29回 模擬集団栄養教育の実施③
	第30回 「集団栄養教育の評価の仕方」 自己評価と受講者評価の まとめ
学習到達目標	栄養教育対象者が、自らの食行動に関心を持ち、必要な知識や技能を習得し生活習慣を改善できるように援助するには、援助者に個と集団の両面からアプローチできる技術が必要になる。栄養教育の必要な人に適切な援助ができるように栄養教育技術を向上させることを目標とする。
授業の方法	前半は与えられた課題についてレクチャーとロールプレイで学ぶ。後半はレクチャーとグループに分かれて集団栄養教育が実際にできるように計画を立て必要な媒体等を作り、模擬集団教育として実施する。
成績評価の方法	事後レポート（30%） 模擬指導や作成した媒体（40%） 授業の参加度（30%）
教科書・テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書	栄養カウンセリング論/小松啓子他/講談社 相手の心に届く保健指導のコツ/津下一代/東京法規出版
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	学習したカウンセリング技術については日常生活で使用する。 街中にある健康教育に関するパンフレットやリーフレットを見つけたような構成でできているかを学習する
履修上の留意事項	授業に積極的に参加することを希望します。
オフィスアワー	授業終了後
担当教員への連絡方法	教務課を通じて連絡ください。
その他	